

令和6年度始業式（4月4日）の話

- 茅ヶ崎北陵高校の生徒の皆さん、おはようございます。
校長の布施和久です。茅ヶ崎北陵に着任して2年目となります。
皆さん元気ですか。よい春休みを過ごせましたか。
新年度の始まりの日に皆さんの顔を見ながら話ができることを心からうれしく思っています。

- さて、いよいよ令和6年度のスタートです。本校は昨年度創立60周年を迎えました。その記念式典を今年の11月15日に茅ヶ崎市民文化会館で行う予定です。内容はまだ検討中ですが、現役生の生徒の皆さんにもご協力いただくことがあると思いますのでよろしくをお願いします。

- 年度の始まりにあたり、あらためて高校とは何かということを考えてみましょう。高校という場所は自分を成長させる場所です。茅ヶ崎北陵高校は学力向上進学重点校エントリー校であり、その目標は「将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる高い資質・能力を持った人材の育成」です。北陵はその可能性を持った人材が集まっている学校です。だからといって皆さんが必要以上にプレッシャーを感じる必要はありません。学校生活に真摯に取り組んでいればその力が自然に身に付くはずです。

- その皆さんに高校生活で身に付けてほしい力は「学力」と「人間力」です。この力をどちらかに偏らずバランスよく身に付けてほしいのです。学力とは、知識だけではありません。考える力、判断する力、伝える力も含まれます。これは主に授業や探究学習によって身に付きます。人間力は学校行事や部活動や友達を始め

人とのかかわりの中で身に付くものです。一つだけがんばればよいわけではなくバランスよくがんばってほしいと思っています。学校は社会のひな型です。様々な人たちが集まって対面で一緒に活動し、社会に出る準備をして成長することが高校という場所の大きな意味です。だから、この二つの力を身に付けるために学校や先生を信頼し、友人と切磋琢磨して北陵を今以上に好きになってほしいと思います。

- 終業式でも言いましたが、あなたたちの人間性は素晴らしいです。真面目で素直で明るくて勤勉で穏やかで優しくて人が好いです。でもその反面欲がなく、失敗することや傷つくことを恐れている気がします。最初から自分の力はこのくらいと決めつけるのではなく高い目標に挑戦してほしいと思います。伸び代がある皆さんなら必ず結果は出ます。人の価値はトライしたことの積分値（面積）で決まると言います。失敗してもプラスになります。何もしないのが一番いけません。ゼロにしかならないからです。一つ学年が上がったことをきっかけにして自分の成長のためにチャレンジしてください。

- 最後になりますが、学校生活等で皆さんが困ったり、悩んだりした時は一人で抱えこまず相談してください。学校にはスクールカウンセラーの先生やスクールソーシャルワーカーの先生もいます。外部の相談窓口もあります。私たちはいつでも皆さんを応援しています。私たちの一番の喜びは皆さんの成長を見ることです。一緒にがんばっていきましょう。

それでは今年度もよろしく申し上げます。以上で終わります。

校長 布施 和久